

法人概要

社会福祉法人いたるセンター

いたるセンターの理念

自立と共生を求めて

個性が響き合うしなやかな社会を目指します

全ての人が 社会との関わりの中で 自分らしさと向き合い
一度きりの人生を 自分らしく生きることができるよう
出逢いを 時間を 今を大切に 思いやりとやさしさを 未来につなごう
自分のために 社会のために

基本方針

1. 私たちは、障害児・者ご本人とご家族が生涯安心して生活できるように、社会ニーズを踏まえ、個を尊重したサービスを提供していきます。
2. 私たちは、利用者の喜びに満ちた生活実現のため、常にサービスの質の向上に努めます。
3. 私たちは、利用者本位の視点を常に念頭に置き、安全・安心の確保に努めると共に、利用者の社会参加と自己実現を積極的に応援していきます。
4. 私たちは、利用者のよき理解者となるために、完成を磨き、研鑽に励み、見識見聞を広め、人間力の向上を目指していきます。
5. 私たちは、地域との交流・連携を深め、福祉力向上のために貢献していきます。

社会福祉法人いたるセンターの事業経歴

当法人は、昭和42年9月11日第2種社会福祉事業の設立認可を受け、家庭児童相談、及び知的障害者の更生相談と指導に応じる民間施設として開設されました。法人名にある「いたる」はフランスの国立聾唖学校の教師であり、古典的名著「アベロンの野生児」の著者であり、また当時パリ大学の精神病理学の教授でもあったピネル博士の弟子のイタルの名前を顕彰する意味で授け、「センター」には地域福祉の拠点となるべきことの願いが込められています。

法人の礎石に刻まれた「Experientia docet Stultos」（経験は人を育てる）は法人のあり方を象徴するものであります。

来年9月で50年目を迎える当法人の実績の多くは、利用者並びにご家族の皆さまの切実な声やニーズにお応えする形で築いてきたものです。実績を重ねることにより信頼が生まれ、信頼がまた新たな実績へと繋がっていく、その積み重ねを今後も丁寧に実践してまいります。

相談事業は法人の根幹を成す事業です。門戸を広く開放して地域の要望、要請を受け止め、サービスを繋ぐ役割、サービスを産み出す役割などを積極的に担ってきました。現在いたる相談室は特定相談事業所として運営しており、また平成25年度より杉並区障害者地域相談支援センター高井戸の委託を受けて運営しています。

阿佐谷福祉工房は、比較的障害が重い方が利用する施設として位置づけられ、障害が重くても仕事をする事の大切さ、厳しさ、喜びを伝えてほしいという要望に応えてきました。

イタル成城は、平成27年4月に開設し日中支援事業(生活介護)、短期入所事業、グループホーム事業を行う複合施設です。全ての事業で医療的ケアの必要な方も対象としており障害の重い方の地域生活を支える施設となっています。

クローバーは障害者(児)のご家族が地域の中で安心して暮らしていただくために、介護者の急病或いは冠婚葬祭等のときに介護者に代わって日常生活の支援をする緊急一時保護事業からスタートして、「ご本人にとってまた次も行きたい場所(楽しみな場所)にしていこう」という熱い思いで信頼を繋いできました。利用予約を取ることが難しい、地域で期待される事業になりました。

グループホームは平成10年に法人最初のホームを開設しました。開設当初より障害の軽重を問わず利用できるホーム作りを標榜し、その方針を現在まで貫いてきました。その結果、14ホーム73名の地域生活を支える事業に発展してきました。45名の利用

者の半数近くが障害程度区分4以上という事実は法人が示した方向性の確かな裏付けとなるデータと考えます。今後も、当法人は障害者とそのご家族が生涯に渡って安心、安全そして豊かさを感じながら地域での生活を送って頂くことを願い積極的に事業を展開していきます。今後も、当法人は障害者とそのご家族が生涯に渡って安心、安全そして豊かさを感じながら地域での生活を送って頂くことを願い積極的に事業を展開していきます。

経歴及び事業経歴

昭和 42年9月	社会福祉法人いたる臨床発達指導センター認可
45年4月	幼児の通所訓練事業を開始 その後、原宿の「いたる学園」に移る
50年4月	杉並区心身障害通所訓練事業訓練事業運営補助金の適用を受け、「いたる阿佐谷生活園」を開設
60年4月	杉並区心身障害者緊急一時保護事業受託 9月より運営開始
平成 4年4月	「第二いたる阿佐谷生活園」開設
5年4月	緊急一時保護事業をショートステイ事業に名称変更
8年6月	精神薄弱更生施設（通所）「阿佐谷生活園」の設置届が受理される
9年9月	法人設立30周年
10年12月	東京都知的障害者生活寮「いたるホーム」開設
12年4月	グループホーム「バラード」開設
13年8月	グループホーム「らら」開設
13年12月	いたるコミュニティールーム「にぎやかな風」開設
14年6月	グループホーム「ジャズ」開設
15年10月	グループホーム「ボレロ」開設 ショートステイ事業室の名称を「クローバー」とする
17年1月	重度知的障害者グループホーム「ワルツ」開設
18年10月	日帰りショート事業 「マルコ」（杉並区委託事業）
19年4月	「あけぼの作業所」指定管理事業者として運営開始

19年7月	「サポートウイズ」居宅介護・重度訪問介護指定を受ける移動支援事業開始
19年9月	東京都指定相談事業所 「いたる相談室」開設 法人設立40周年
20年1月	「阿佐谷生活園」新体系に移行（生活介護、就労移行、就労継続支援B型）
20年7月	杉並区障害者相談支援事業所 受託 グループホーム「ブルース」開設
21年4月	「あけぼの作業所」 新体系に移行（生活介護、就労移行、就労継続支援B型） 指定管理期間終了に伴う民営化 就労継続支援A型 「p u k u p u k u」阿佐谷生活園多機能型事業に加わる
22年3月	グループホーム 「ポルカ」開設
22年4月	グループホーム 「虹の音色」運営開始 就労継続支援A型事業所 「p u k u p u k u」 単独事業開始
22年6月	グループホーム「荻窪ハーモニー」開設
22年7月	「阿佐谷生活園」屋舎建替え国庫補助協議書 内示
22年10月	「目黒区立目黒本町福祉工房と併設する福祉の店」運営委託決定
23年6月	「目黒区立目黒本町福祉工房に併設する福祉の店（さんまるしえ）」事業開始
24年4月	「目黒区立目黒本町福祉工房」委託運営開始
24年4月	「阿佐谷生活園」 「クローバー」新屋舎完成
24年4月	「阿佐谷福祉工房」（阿佐谷生活園より改名）新屋舎で事業開始
25年4月	「杉並区障害者相談支援センター高井戸」委託運営開始
25年5月	グループホーム「タンゴ」開設
26年4月	法人事業所内保育事業「ピヨピヨおうちえん」開設
26年5月	グループホーム「カノンⅠ・Ⅱ」開設

26年11月	グループホーム「シンフォニーⅠ・Ⅱ」開設
27年4月	「イタル成城」開設
28年2月	グループホーム「ワルツⅠ・Ⅱ」開設（旧ワルツ建替えによる）
28年4月	小規模型事業所内保育事業「ピヨピヨおうちえん」事業開始（杉並区認可事業）

事業経歴

I 通所事業部門

1. 阿佐谷福祉工房… 「どのような障害があろうとも、働くことを支援し働く喜びを与え、また工賃を得ることによって社会と繋がる環境をつくる」を使命とし、作業、創作的活動を行いながら日常生活を支援する「生活介護部」、就労の機会や生産活動を提供する「就労継続支援B型事業部」、2つの事業部に分かれて運営する多機能型事業所です。

（従業員数 常勤職員 28名 非常勤職員 12名）

2. あげぼの作業所… 「安心・安全の確保、信頼の確保、関係性の構築」を前提とし、サービス向上に努めながら「働くところを支援し、働く喜びを与え、社会と繋がる環境をつくる」を使命とし、ゆったり、のんびり活動する「生活介護事業部」、工賃アップを目指す「就労継続支援B型事業部」、一般就労を希望する者に実習や職場探し、職場定着のための支援を行う「就労移行支援部」これら3つの事業部に分かれて運営する多機能型事業所です。メンバー一人ひとりの「のびやかさ」と「自主性」を大切に運営をしています。

（従業員数 常勤職員 17名 非常勤職員 11名）

3. 目黒区立目黒本町福祉工房…目黒本町福祉工房は区立施設として地域に開かれた施設運営をします。利用者の幅広いニーズと期待に応え、利用者一人一人の豊かな地域生活の実現を目指します。障害特性に合わせた3つのグループで構成している生活介護事業と利用者一人一人の個性を生かして、様々な生産活動等の作業支援と、社会資源等を生かしながらより充実した地域生活や家庭生活を送れるような生活支援を行っています。

（従業員数 常勤職員 32名 非常勤職員 11名）

3. イタル成城 …平成 27 年 4 月開設「どんな障害があっても地域で自立して生活できるように、一人ひとりの命を大切にする思いやりと人権尊重の精神の考えに基づいた利用者支援を行う」ことを使命とし、生活介護事業、短期事業、グループホーム事業を同じ建物内でサービスを提供する複合型施設です。職員が全ての事業に係る一体型運営を行っています。また全ての事業が医療的ケアの必要な方も対象としており地域の重度障害者の拠点として注目されています。

(従業員数 常勤職員 37 名 非常勤職員 12 名)

3. パン工房「PUKUPUKU」… 「食の安心安全を通して地域一番点となり、地元のお客様に支持される店舗運営を行う」ことを使命とし、天然酵母、無添加、国産小麦を材料にした安心・安全と美味しさの融合した「就労継続支援A型」の事業所です。

(従業員数 常勤職員 6 名 非常勤職員 9 名 障害者雇用 19 名)

Ⅱ ショートステイ事業

1. クローバー…家族の病気や事故、冠婚葬祭や学校行事への参加など、家族が何らかの理由で、同居している障がい者を有するお子さんのケアができなくなる時があります。そのような時、一時的にクローバーに宿泊し、必要な援助を受けることができるサービスです。杉並区在住の概ね 5 歳から 64 歳までの方がご利用になれます。365 日、24 時間サービス実施しています。

2. マルコ…杉並区在住の概ね 5 歳から 18 歳までの児童が利用されます。区内にサービスの資源が少ないことから、子どもたちへの支援の輪を広げるため、平成 20 年 4 月より展開しています。事業所の名前「maru-co マルコ」とは支援の輪「○」を子どもたちに提供していく仲間・場所という意味があります。

(従業員数 常勤職員 9 名 非常勤職員 3 名)

Ⅲ グループホーム事業

障害の軽重を問わず利用できるグループホームを理想として、これまで杉並区内を中心に 14 か所設置してきました。男女合わせて 73 名の方がご利用になっています。

1 年 365 日、健康に、安心して、豊かな出合いに満たされ、気の合う仲間と生活できることを目標としています。

(従業員数 常勤職員 25 名 非常勤職員 16 名)

IV 移動支援事業・居宅介護事業

サポートウイズは、1年365日の内、主に土日祭日を中心にした利用者個々のニーズに合わせた余暇支援を柱にして事業を行っています。支援者は柔軟な対応ができるスキルを磨くことを目標としています。

(従業員数 常勤職員 7名 登録ヘルパー 31名)

V 相談事業

1. いたる相談室…いたる相談室は指定特定相談事業、指定特定障害児相談事業を行っており主にサービス等利用計画とモニタリングを行っています。障害のある方とその家族の方が、毎日の生活の中で、困ったことや悩んでいることなどを少しでも軽減し、また解決の方法を一緒に考えていくところです。真摯に寄り添う姿勢を運営理念としています。

(従業員数 常勤職員 2名 (内兼務1名))

2. すまいる高井戸 (杉並区障害者相談支援センター) …すまいる高井戸は、ネットワークを構築しながら、社会福祉士・精神保健福祉士等の専門性 (またはピアの特性) を活かし、地域にお住いの障がいのある方が自分らしく生きることの支援を使命としています。

(従業員数 常勤職員 4名 非常勤職員 5名)

VI 保育事業

ピョピョおうちえんは平成25年4月に当法人職員の就労を支援する目的で事業内保育を開設しました。2年間の実績が認められ平成28年4月に杉並区認可の小規模型事業内保育事業がスタートしました。

(従業員数 常勤職員 6名 非常勤職員 2名)

従業員数

・常勤職員……195名

・非常勤職員…152名

合計347名